

とぜわ

広報

Public Relations of TOZAWA

2018年(平成30年)12月号 号外

豪雨災害 特集号

号外



▶ 8 / 5 ・ 6 豪雨。三ツ沢で大規模な土砂流出



▶ 8 / 30 ・ 31 豪雨。濁沢川が氾濫し、濁沢地区の県道が水没



村を飲み込んだ2度の集中豪雨

豪雨災害

8月に戸沢村を襲った2度の集中豪雨。中部・南部地区を中心に大きな被害をもたらした「8月5・6日豪雨」、北部・中部地区に甚大な被害をもたらした「8月30・31日豪雨」。村内にこれまで経験したことのない猛烈な雨とともに、私たちの生活に大きな影響を与えた2度の集中豪雨の大水害について報告します。

『豪雨災害特集号』の発行にあたって

「災害は忘れたころにやってくる」ということわざがありますが、忘れる暇もなく8月に2度の記録的豪雨により、村内各所で本当に大きな被害が発生しました。

この豪雨の影響により、被害に遭われた村民の皆様、改めて衷心よりお見舞い申し上げます。

今回の災害では、幸いにも人的被害はなかったものの、度重なる床上・床下浸水による建物被害、道路の損壊や一部断水。また、農地や農業施設、林道なども決壊等の被害が多数発生しました。

こうした中ではございますが、今回の2度の災害の全貌が少しずつ明らかになってまいりましたので、今現在の情報を村民の皆様と共有するため、このような冊子を発行させていただく運びとなりました。

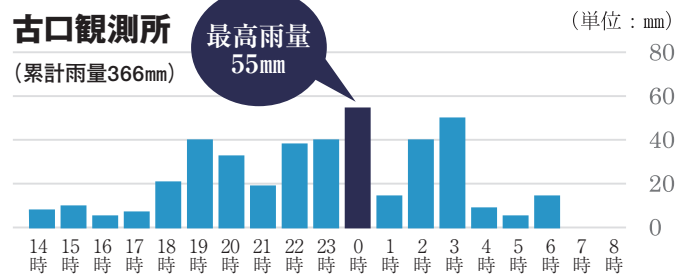
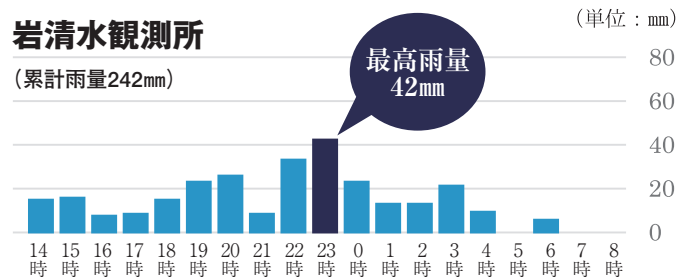
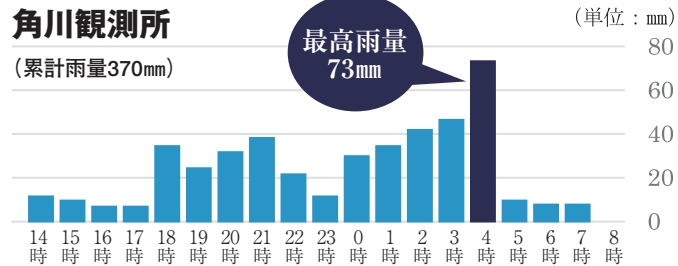
地球温暖化に伴う気候変動の影響により、今後ますます懸念される豪雨等災害に備え、村としても国や県等とより一層連携を密にし、ハード・ソフト両面に関わる対策を積極的に進める必要があります。その為には、地域と行政が一体となり復興に向けて取り組んでいくことが重要です。

今後とも、皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

戸沢村長 渡部 秀勝

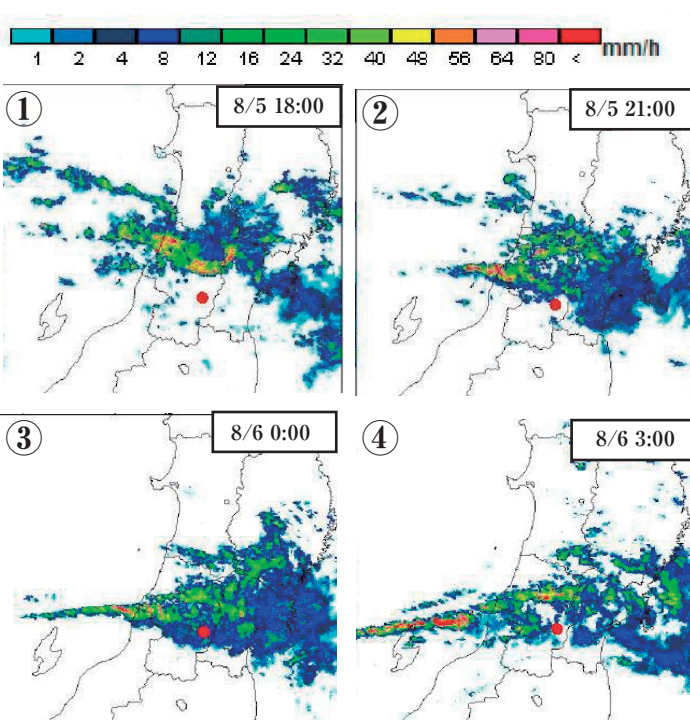
8/5-6

■降雨量推移 (5日 14時～6日 8時)



●出典:国土交通省

■降雨分布の状況



※●印は山形地方気象台の位置を示す

●出典:山形地方気象台

■災害経過状況

8月5日

- 14：02 大雨警報
18：10 洪水警報
19：35 山形県土砂災害警戒情報

8月6日

- 0：17 避難準備情報
0：30 災害対策本部設置
0：34 避難勧告（村内全域1,618世帯
4,635人）
1：30 避難指示（岩清水、名高、津谷
293世帯905人）
1：45 避難指示（上・下・向松坂
87世帯356人）
4：00 避難指示（角川地区全域
278世帯758人）
4：55 避難指示（蔵岡 85世帯273人）
5：00 避難指示（古口 165世帯435人）
8：30 避難指示（柏沢 9世帯26人）
9：57 洪水警報 解除
14：00 山形県土砂災害警戒情報 解除
15：09 大雨警報 解除
17：30 避難勧告 解除（村内全域）

■被害状況（11月末現在）

- 住 家（床下浸水）……………101件
（床上浸水）…………… 15件
（全 壊）…………… 0件
（半 壊）…………… 0件
○公 共 施 設…………… 0件
○道 路…………… 57件
○橋 梁…………… 1件
○河 川…………… 0件
○林 道…………… 67件
○農 地……………338件
○山 林…………… 23件
○農業関係（水路）…………… 22件
（道路）…………… 31件
（施設）…………… 59件
○農 作 物……………942ha

災害復旧事業総額 **3億611万円**

土砂により電柱が倒されるなど多くの被害がもたらされました。

また、道路の崩落や流れ込んだ土砂による通行止めなどにより、三ツ沢地区が一時孤立状態となり、住民の生活に大きな影響ができました。こうした状況をいち早く打破するため、仮設道路の設置などが急ピッチで行われました。災害から数日後には通行止めが解除されましたが、3ヶ月が経った11月現在でも三ツ沢地区においては、仮設道路での通行が続いています。

この他にも、電柱倒壊による停電や水道管損傷による断水、家屋の床下・床上浸水、農地の埋没など被害は広範囲に及び、甚大な被害が発生しました。

不安と共に過ごした避難所生活

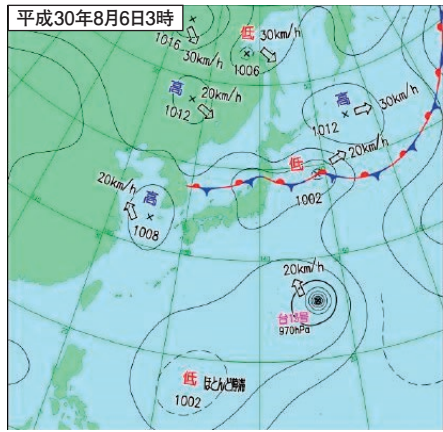
避難勧告・避難指示の発令された後、中央公民館をはじめとする村内各地の避難所に6日9時までに852人が避難し、被害の収束を待ちました。「浸水・土砂崩れの危険がある」、「水害により住居を奪われた」など様々な理由を抱えた、避難所での生活は、15日までの10日間続きました。

その間、避難所には毛布や食料品、飲料水などの多くの支援助物資が災害復旧を応援する温かい気持ちと共に届けられました。また、陸上自衛隊第20普通科連隊による炊き出しも行われ、避難者に温かいご飯が提供されました。



豪雨の記録

甚大な被害をもたらした「8月5・6日豪雨」の記録を掲載します。



●出典：山形地方気象台

猛烈な雨が村を襲う

8月5日、前線上の低気圧が東北地方に上陸し、猛烈な雨を降らせながら停滞。発達した積乱雲や日本海の暖かく湿った空気が次々と流れ込み、山形県に「記録的短時間大雨情報」が発表され、戸沢村では記録的な大雨となりました。

5日の午前中から降り始めた雨は、昼ごろから徐々に雨足を強め、時間を追うごと激しさを増していきました。そんな中、14時2分、戸沢村全域に「大雨警報」が発表され、その後、18時10分には「洪水警報」が発表されました。

村では、大雨警報が発表されたのち、迫る災害に備え「第1号配備」の体制をとり、6日0時30分に「災害対策本部」を立ち上げました。

村内全域に避難勧告

こうした状況を受け、災害対策本部では、0時34分に村内全域（1618世帯4635人）に避難勧告を発令しました。

その後、地元消防団や住民の方などから寄せられる情報や鮭川が氾濫危険水位に達し氾濫の危険があるなどの情報を受け、1時30分に岩清水、名高、津谷地区に「避難指示」を発令。5時までに計908世帯2727人に対し、避難指示が発令され、地区会役員の協力を経て、各地の避難所に避難が行われました。

夜間の内に避難を始める

角間沢川と蔵岡地区の冠水

降り続ける雨により、村内の河川が次々と氾濫危険水位に到達。6日1時には鮭川、4時には角川、5時には最上川が氾濫危険水位に達し、周辺地区では堤防の決壊や冠水被害が発生しました。

そうした中、5日深夜に蔵岡地区の角間沢川が氾濫し、木や土砂を巻き込んだ濁流が住民の住む蔵岡地区を直撃。それと同時に発生した蔵岡地区停電の影響により、角間沢排水ポンプ施設が機能せず、6日1時30分には最大浸水深1mを超える浸水被害が発生し、あたり一面が水面と化しました。国交省のポンプ車による決死の排水作業が行われましたが、自動車や家財道具が濁流に飲み込まれたり、家屋に土砂が侵入してきたりするなど、被害は大きくなるばかりでした。その後、家に取り残された方などもおりましたが、広域

被害の爪痕が明るみに

夜が明けるとともに、徐々に村内各地の被害の状況が明るみになってきました。

村内の山間部では、集中豪雨の影響により土砂崩れや道路の欠損が発生。土石流が民家に押し寄せたり、

消防や地元消防団などによるボートを使った救出作業が行われ、助けを待つ住民82名は無事救助されました。

ボートでの救出活動

観測史上最高雨量



■災害経過状況

8月31日

- 0：50 大雨（土砂災害）警報
- 2：14 洪水警報
- 2：28 土砂災害警戒情報
- 3：00 災害対策本部設置
- 3：30 避難指示（綱取、元屋敷、濁沢、名高 10世帯29人）
- 4：27 避難指示（向松坂 2世帯5人）
- 5：00 避難準備情報（村内全域 1,606世帯4,601人）
- 6：50 避難勧告（下松坂 20世帯82人）
- 7：45 避難勧告（村内全域1,502世帯4,248人）
- 10：30 避難指示（蔵岡 84世帯271人）
- 14：00 避難勧告 解除（村内全域）
- 17：00 避難指示 解除（向松坂、蔵岡）

9月1日

- 3：12 土砂災害警戒情報 解除
- 10：30 避難指示 解除（元屋敷、綱取、濁沢、名高）
- 10：37 大雨警報 解除

■被害状況（11月末現在）

- 住 家（床下浸水）…………… 28件
- （床上浸水）…………… 2件
- （全 壊）…………… 0件
- （半 壊）…………… 0件
- 公 共 施 設…………… 0件
- 道 路…………… 15件
- 橋 梁…………… 0件
- 河 川…………… 0件
- 林 道…………… 2件
- 農 地…………… 159件
- 山 林…………… 300件以上
- 農業関係（水路）…………… 16件
- （道路）…………… 30件
- （施設）…………… 3件
- 農 作 物…………… 583ha

災害復旧事業総額 **9,780万円**

北部地域を中心に大きな被害

夜が明けると、地元住民からの情報提供や職員のパトロールなどにより、村内各地の被害の状況が明るみになってきました。

北部地域では、真夜中から降り続く豪雨の影響で、名高地区、松坂地区の県道が冠水により通行止め。濁沢地区に関しては、冠水がほぼ全域に及び、家屋に濁流が侵入してきたり、刈り取りを待つ田んぼが広範囲にわたり冠水するなど、甚大な被害がもたらされました。「8月5・6日豪雨」の際に大規模な浸水被害にあった蔵岡地区では、今回の豪雨でも角間沢川が氾濫。住民の住む地域に大量の濁流が押し寄せました。



角間沢排水ポンプ場やポンプ車8台を稼働しての決死の排水作業が行われましたが、排水機能が追いつかず、2度目の浸水被害がもたらされました。

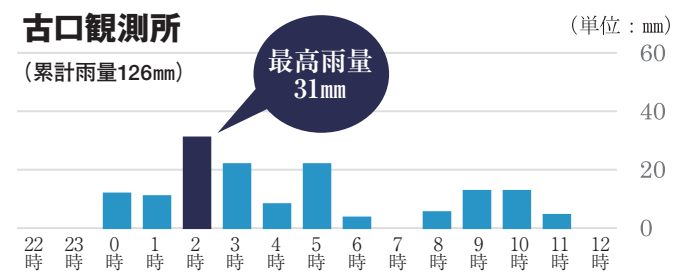
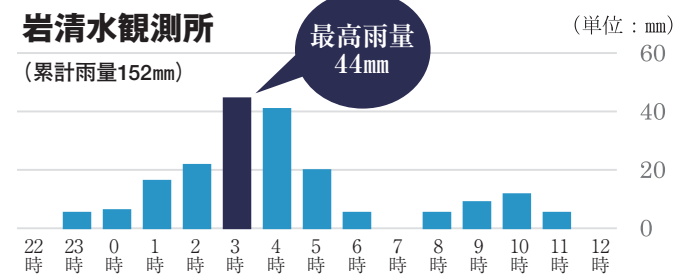
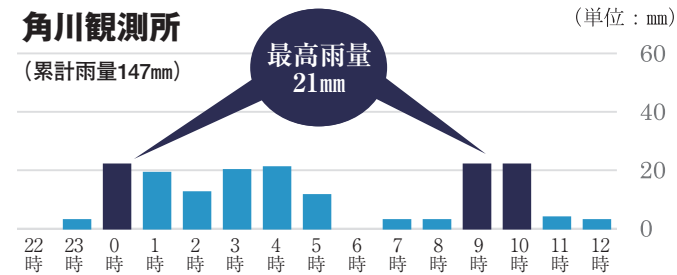
これらの被害から一刻も早く以前の生活に戻るよう、村では国や県と連携しながら、全力を挙げて復旧作業に取り組んでいます。



豪雨の記録
甚大な被害をもたらした「8月30・31日豪雨」の記録を掲載します。



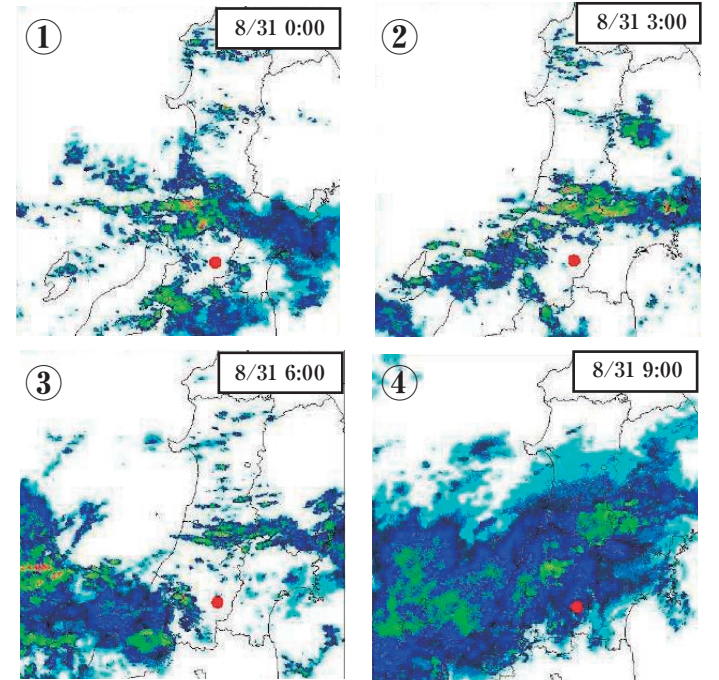
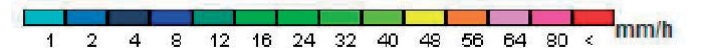
■降雨量推移（30日 22時～31日 12時）



●出典：国土交通省

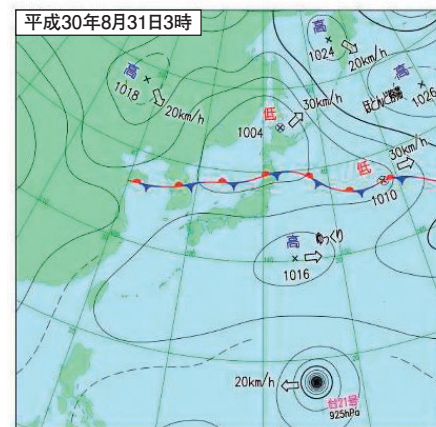
8/30-31

■降雨分布の状況



※●印は山形地方気象台の位置を示す

●出典：山形地方気象台



●出典：山形地方気象台

真夜中に降り続いた大雨

8月30日、黄海から日本海を通じて日本の東にのびる秋雨前線が南下し、東北地方に上陸。31日には、激しい雨を降らせながら停滞し、大気の状態が非常に不安定となりました。そうして戸沢村では、8月2度目となる記録的な大雨となりました。

30日の午後から降り始めた雨は、夜に近づくにつれ徐々に雨足を強めました。そうして、31日0時50分、「大雨（土砂災害）警報」が戸沢村

31日未明の避難指示

降り続ける大雨を受け、「8月5・6日豪雨」により、地盤が緩み土砂災害の恐れのある綱取、元屋敷、濁沢、名高地区に3時30分、「避難指示」を発令。4時27分には、向松坂地区にも避難指示が発令され、地元消防団や地区会役員らの協力を経て、雨の降り続ける真夜中の間に避難が行われました。

その後、7時45分までに村内全域1502世帯4248人に「避難勧告」が発令され、避難所への避難が開始されました。

全域に発表され、その後、2時14分に「洪水警報」、2時28分に「土砂災害警戒情報」と立て続けに警報が発表されました。

村では、大雨警報が発表されたことを受け、31日3時に「災害対策本部」を開設し、大雨による災害に備えました。

2度目の
豪雨被害

■ボランティアの記録

災害ボランティアセンター
(8月11日～28日)

42団体875人が活動

社協ボランティアセンター
(9月2日～3日)

5団体48人が活動



集められた大量の災害ゴミ



民家に流れ込んだ土砂の撤去作業



軒先の土砂を撤去



寺院に流れ込んだ土砂を運び出す



崩れた個所を土のうで固める



家財道具の清掃を行う



新庄東高等学校の生徒も応援に駆けつける



被害家屋の清掃



運営に携わっていただいた多くの社協関係者



途切れることのない“応援のチカラ”

復旧に向け 広がる“支援の輪”

拡大する“応援のチカラ”

8月5日の豪雨から2日後の8月7日、戸沢村社会福祉協議会で「戸沢村災害ボランティアセンター」を設置しました。

ボランティア受付を開始した11日から1週間には、県内外から200名を超えるボランティアの方が集まり、浸水した家屋からの土砂出しや家屋周りの清掃に汗を流しました。

その後も、北は北海道から南は長崎まで、全国各地から多くのボランティアの方に応援に駆けつけていただき、28日の閉所までにべ875人が集まりました。

また、8月31日の豪雨翌日の9月1日には、「戸沢村社会福祉協議会ボランティアセンター」を立ち上げ、閉所までの2日間に計48人のボランティア

の方が被災者の支援にあたりました。

多くの支援により復旧へ

11日から14日間にわたる活動の中で、駆けつけていただいたボランティアの方には、豪雨により大きな被害を受けた蔵岡、角川地区を中心に土砂の撤去等の作業をしていただきました。そして、作業箇所は89件にもほり、多くの土砂や粗大ゴミが運び出されました。

また、被災した地域から出た流木や瓦礫、粗大ゴミなどの「災害ゴミ」は、村内外の多くの建設業者などの支援により、運搬や撤去が行われました。

こうして、多くの方々からの様々な支援や協力をいただき、少しずつ復旧に向け進んでまいりました。

多くのご支援 ありがとうございます

災害発生後より、多くの方にご支援いただきました。たくさんのご寄附・支援物資をいただきましたこと、心からお礼申し上げます。

豪雨災害見舞金によるご支援

やまがた酒彩倶楽部(株)武田庄二商店／石巻市小湊漁師石森利一様／須田進様／増井美紀様／鈴木勝美様／向名高地区会・向名高地区祭典保存会／やまがたメイカーズネットワーク／アジア学院／ヤマサンボランティア協議会／山形市社会福祉協議会／戸沢村立戸沢中学校平成5年卒業生一同／斉藤和子様／(財)本所賀川記念館／ヒノウチタカオ様／トバリマサオ様／(株)創和／大石田ライオンズクラブ／生活協同組合共立社／平岩正勝様／最上峽芭蕉ライン観光(株)有志一同／中井町／中井町職員一同／津谷地域振興会事務局／全国町村協議会議長会／株式会社ササキハウス／QUEST2018実行委員会／中井町子ども会／全国町村会／東日本建設業保証株式会社山形支店／障がい者支援施設光生園利用者互助会／さくら会／東海山形県人会／千葉プロレスKAI ENT AIDJO／赤羽プラザホテル／新庄ペンチャークラブ／佐藤隆成様／学校法人最上広域コア学園新庄コアカレッジ／山形県立新庄神室産業高等学校PTA／山形県労働組合総連合／公益社団法人新庄・最上地域シルバー人材センター／ヤハギユウコ様／山形県町村会／日本基督教団新庄教会／東京戸沢会役員一同／東京戸沢会イベント時募金／ピース商事／高瀬地区振興会社会福祉部

豪雨災害支援物資によるご支援

J A全農山形／山形トヨペット／(株)森環境技術研究所／ニューヤマザキデイリーストア戸沢津谷店／山形戸沢ファーム／山形霞城LC／山形アルカディアLC／新庄もみの木LC／新庄もがみLC／新庄LC／新庄ライオンズLC／大蔵村／ほし薬局／大石田町社会福祉協議会／長井市社会福祉協議会／山形県社会福祉協議会／吉田茂様／神奈川県中井町／宮城県亘理町社会福祉協議会／曹洞宗山形県第一宗務所／特定非営利活動法人チーム絆東日本復興支援団体岩手支部／みどりの会／三條美香様／曾根久美子様／東京戸沢会／南陽市青年会議所／佐藤優様／佐々木浩行様／三原勇祐様／綱谷由美子様／被災地へ土のうを送るプロジェクト／山形広報活動隊／楯岡中学校柔道部／(株)丸徳ふるせ／サトウヒロシ様／チームはちまき／松田美雪様／秋保めぐみ様／小嶋林業／東京都北区／東北高校女子柔道部／松本晃一様／真栄隆信様／青森山田高等学校柔道部／佐々木歩様／鈴木光広様／仲川繁様／佐々木洋人様／凌門塾／米沢市社会福祉協議会／米沢市／南陽市／石巻市小湊漁師隊／金山ライオンズクラブ／安野賢一様／エムエフ(株)／武田邦宏様／(株)山陽／東根市社会福祉協議会／古口郵便局長／小金井龍朗様／高橋寿正様／佐藤裕様／落合リエ様／田中美穂様

災害ゴミ収集・運搬によるご支援

株式会社新幸建設



▶ 洪水予報と水位

❗ 村が発令する情報に注意してください。
避難勧告などが発令されたら速やかに避難してください。

❗ 氾濫に警戒を要する水位です。高齢者などの避難に時間を要する方は避難を開始してください。

❗ 氾濫に関する情報に注意してください。避難の準備を始め、いつでも避難できるようにしてください。

氾濫危険水位 最上川 8.2m
角川 2.5m
鮭川 6.7m

避難判断水位 最上川 8.0m
角川 2.1m
鮭川 6.3m

氾濫注意水位 最上川 5.5m
角川 1.7m
鮭川 3.5m

※上記の水位は、最上川→古口観測所、角川→角川観測所、鮭川→真木観測所の数値です。

堤防

▶ 日頃の備え

ハザードマップを確認！

ハザードマップを確認し、自宅やその周辺にどのような危険が潜んでいるのかを知り、災害時の備えについて考えてみましょう。

☞ 土砂災害ハザードマップ

上記の情報は、村HPで確認できます。
<http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>



避難経路を確認！

いざという時に速やかに避難するためには、どこに避難するか、どの道を通って避難すれば安全かを事前に確認しておきましょう。

☞ 避難場所一覧

上記の情報は、村HPで確認できます。
<http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/>



避難時のもちもの確認！

避難が必要になった時に、すぐに持ち出せるように、非常用持ち出し品をリュックサックなどにひとまとめにしておきましょう。具体的な非常用持ち出し品は、下記を参考に自身や家族の状況に応じて、準備しておきましょう。非常用持ち出し品の数量は、徒歩で避難することを考慮して、避難する方が、無理なく背負って避難所まで歩ける量にとどめておきましょう。

- 食料品（飲料水、乾パン、レトルト食品）●貴重品（現金、預金通帳、印鑑、健康保険証、身分証明書）●医薬品（救急医療品、常備薬、マスク、生理用品）●衣類（下着、タオル、寝袋、雨具、軍手、靴）●日用品（使い捨てカイロ、ラジオ、懐中電灯、電池、ロープ、マッチ、ティッシュペーパー、ゴミ袋）



▶ 避難時の注意事項

避難する前に！

避難する前に、電気・ガスなど火元を消し、避難所を確認しましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



速やかに避難しましょう！

避難勧告などは、危険が迫った時に発令されますので、速やかに避難しましょう。避難の際は、警察や消防団員などの指示に従いましょう。

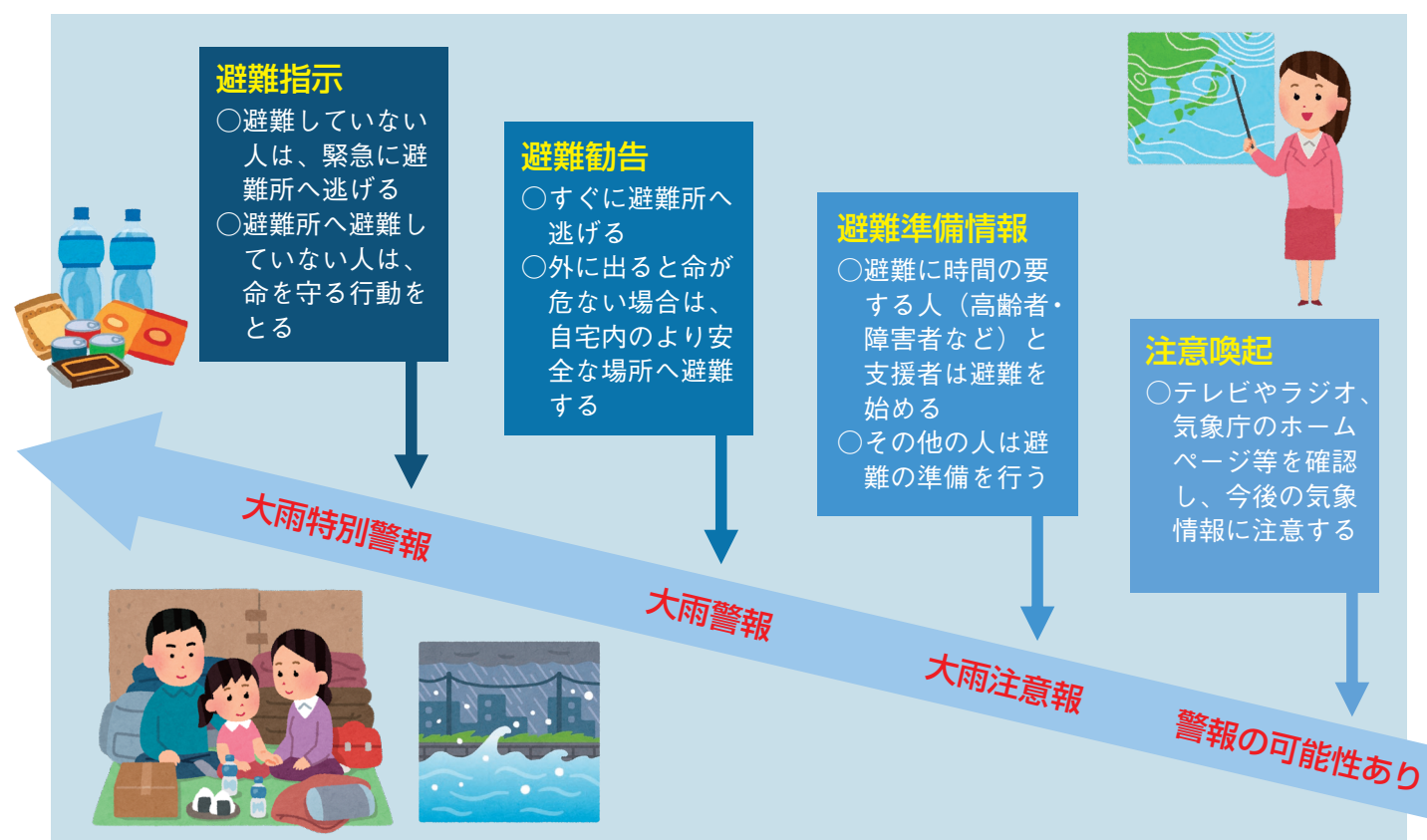


動きやすい格好、2人以上での避難！

避難するときは、なるべく動きやすい格好で避難しましょう。また、2人以上での避難を心掛けましょう。



▶ 避難情報と行動の目安



豪雨の際は、
災害情報を基に適切な行動を
心掛けましょう！

いつ起こるか分からない豪雨災害。
日頃から災害情報の入手方法や災害
発生時の行動などを確認し、もしも
の時に備えることが大切です。

災害情報をキャッチしましょう

大雨や災害の情報、避難勧告などの情報は、下記的手段によって住民の皆さんに伝達されます。雨足が強くなった場合や河川の水量が増加してきた場合には、テレビやラジオをつけるなど、安全確保のため積極的に情報をキャッチすることが重要です。

「防災行政メール」に登録しましょう！

災害情報を発信します
災害情報や避難情報などの村内の防災・行政情報をいち早く村民の皆さんにメールでお届けします。

●登録方法
携帯サイトにアクセスし、案内に従って登録してください。



災害対策本部

テレビやラジオで放送

防災行政メールや
エリアメールで発信

村ホームページに情報掲載

防災無線やサイレンで広報



豪雨災害に関するお知らせ

広報

とぞわ

2018年12月号 号外
豪雨災害特集号

発行・編集 戸沢村総務課 山形県最上郡戸沢村大字古口270 TEL.0233-72-2111 FAX.0233-72-2116
HP: <http://www.vill.tozawa.yamagata.jp/> E-mail: tozawa@vill.tozawa.yamagata.jp

▼り災証明書の発行

り災証明書を交付しています。り災証明書とは、住家等がどの程度の被害にあったか証明するもので、保険請求や減免手続き等の際に提出を求められることがあります。

- 手続きに必要なもの 印鑑・身分証明書（運転免許証、健康保険被保険者証等の公的機関が発行するもの）
- 受付場所 戸沢村役場危機対策課
- 問合せ先 危機対策課防災保護係 ☎72-2152

▼戸沢村単独災害復旧事業

豪雨により被害を受けた農地・農業用施設の復旧を支援します。

- 対象 原則5万円以上50万円以下の農地・農業用施設の復旧に係るもの
- 補助率 事業費の1/2
- 申請受付 平成31年3月31日(日)まで申請受付
- 問合せ先 戸沢村役場産業振興課 ☎72-2527

▼戸沢村住宅リフォーム工事補助金

- 戸沢村持家住宅整備促進事業補助金
補助額 対象工事費の10%【限度額50万円】（※1）
対象 住宅及び附属屋等
※1 村外「県内」の業者が工事を行う場合は、対象工事費の5%【限度額25万円】となります
- 戸沢村住宅リフォーム総合支援事業補助金
補助額 対象工事費の10%（※2）【限度額20万円】（※3）
対象 県内の業者による住宅リフォーム工事で要件（補強、省エネ、バリアフリー等）を満たす工事
※2、3 移住・新婚・子育て・三世帯同居の世帯は、
補助率及び限度額が更に各10%・10万円引き上げられます
※3 県産木材を3㎡以上使用したリフォーム工事の場合は、限度額が30万円まで引き上げられます
- 問合せ先 建設水道課建設係 ☎72-2547

▼戸沢村宅地等災害単独復旧事業費助成金

「8月5・6日豪雨」、「8月30・31日豪雨」により、災害を受けた宅地等のうち、復旧事業等を自ら実施する所有者に対し、助成金を交付します。

- 助成対象 ①「8月5・6日豪雨」、「8月30・31日豪雨」により災害を受けた宅地等（自ら居住の用に供する住宅及びそれに付随する建物が存する一体的な敷地等）のうち、復旧事業等を自ら実施する当該宅地等の所有者又はその他村長が適当と認める者
※一箇所当たりの復旧事業費が5万円以上の宅地等に限る
- 助成金額 【自力復旧事業の場合】
資材の購入費及び重機等の借上料の2/3に相当する額（上限40万円）
【復旧事業を委託等した場合】 委託した金額の2/3に相当する額（上限40万円）
- 問合せ先 危機対策課防災保護係 ☎72-2152

豪雨災害見舞金を交付しています

この度の「8月5・6日豪雨」、「8月30・31日豪雨」により、甚大な被害を受けたみなさまに、豪雨災害見舞金を交付しています。交付対象や交付金額につきましては、危機対策課防災保護係（☎72-2152）までお問い合わせください。



HP



E-mail